

町長室から 第5回



5月17日(日)に「築城40年万里
長城祭」が開催されました。

万里長城は、「町民の和」のシンボルと観光スポットになっており、築城を祝いながら、春の訪れを楽しむ場として「万里長城祭」が毎年開催されています。

2000年に2000mを達成した万里長城は、「町民手づくりの観光資源開発を目指そう」と1986年から15年の年月をかけて、15万個以上の石が、人の手によって一つずつ積み上げられてきました。

築城のきっかけは、当時の町職員林崎忠さんが中国旅行から帰った後、町民や役場職員で構成された「観光振興委員会」で万里長城のことを話し、当時は、草地造成の際に出た石の利用について困っていたため、同は「それだ」と声を上げたそうです。私も1987年から関わり、築城初期はなかなか進まず苦労しました。



植樹体験



5月8日 上名寄町有林

森林の育成を通して、森林や林業への理解、そして緑化意識を深めることを目的とした植樹体験が行われ、こども園の園児から小学生・中学生・高校生までの児童・生徒が参加しました。当日は小雨が降るあいにくの天候となりましたが、カラマツとグイマツを交配させた「クリーンラーチ」のコンテナ苗を一本一本丁寧に植え付けました。

また、林業機械による伐採や集材の現場見学も行われ、森林が木材として利用されるまでの流れについて説明を受けました。



まちの話題

